

アンテナ不完全調整の嘆き

2010年電波伝搬実験

J A 1 U P E

車検の為、アンテナ基台を外していた車が5月14日に戻ってきた。だが、アンテナ基台を戻す暇が無く、結局電波伝搬実験（5月30日）の前日、会社から帰ってきてから行う事になってしまった。ハンドランプを照らしながらの作業でなかなか捗らない。Xからは、食事を先にしてくれと、文句を言われる始末だ。

何とか取付けが完了し、アンテナの状態を確認する。お空に出ている局は見渡らなかったが、1/2λから5/8λに切り替えるとノイズレベルが上がり、これでよしとする。腹も減ったし、基台の取付けだけだからSWRの確認は辞めることにした。

5/8λでの走行は一抹の不安があり、トップエレメントのみを外し車内に放り込む。

箱根ターンパイク小田原管理所で無線使用料を支払い、7時ごろ大観山駐車上に着き、J A 1 V W B 木村OM、J F 1 Z F C 宍戸OM、J R 2 C T R 東山OM等と挨拶を交わす。その後、J P 1 K H Y 鈴鹿OMからブレイクがかかりその内容にビックリ。曰く、「UPEさん、5/8λアンテナおかしいよ。信号がふらついている様だ、1/2λより弱い。」との事。

そんな馬鹿など思ったが、アンテナのプロのレポートだから認めない訳にはいかなかった。結局、今年も1/2λで電波伝搬実験を行った。

家に帰って早速調査に入った。2W出力でSWRの確認をしたが全くの正常動作であった。10W出力にした途端、SWR指針が振りきった。「なんだこりゃ」マッキング部接続のN型同軸コネクタの締付けが弱くケーブルが緩んでいるのを確認した。コネクタ内を確認したところ編線の1本が芯線に接触しかかっていた。暇が無かったとはいえ悔いの残る電波伝搬実験であった。

